

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4602		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	木村 敦		
対象学年	3年	開講学期	後期
曜日・時限			
講義室		単位区分	
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L [協同力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（10%） E1 学識と専門技能（20%） I1 理解・分析と読解（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（20%） K2 オーラル・コミュニケーション（20%） L1 チームワーク（10%） M1 総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	とくにありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、自身の研究テーマに基づいて、研究計画と分析方針の策定を行います。 ■キーワード 危機管理、研究論文、研究計画、検証方法 ※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		

授業の趣旨	■副題 危機管理上解決すべき心理学的問題の特定と解決方法の提案 ■授業の目的 本ゼミナールでは、危機管理に関わる心理学的な諸問題を概観する中で、受講者が自らの関心に基づき研究テーマを設定し、卒業論文に向けて研究を進めていきます。当科目では、関心ある領域に関する先行研究のレビューを行いながら、未解決な問題を抽出し、研究テーマ設定、研究計画の構築につなげていくことを目的としています。 ■授業のポイント 基本的には個人ごとに研究テーマを決めますが、ゼミの中で研究テーマ・研究計画に関するプレゼンと議論を繰り返し行い、論理性やコミュニケーション、協働性を養います。また、リサーチスキルや心理学研究法の基礎を養うために、実験計画や統計解析、レポート作成、コミュニケーション等に関する輪読・発表も行います。	
総合到達目標	■旺盛な関心をもって危機管理学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析することができる。 ・研究方法や研究論文の進め方について理解できる。（第1回） ・問題点や論点を探究し、自らの見解を持つことができる（第2回～第8回） ・問題意識を持ち、探究することができる（第2回～第8回） ■論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を卒業論文にまとめ、適切に表現することができる。 ・自らの見解を証明するための文献や資料収集することができる（第9回～第15回） ・文献の読み方や資料の解釈などを修得する（第9回～第15回）	
成績評価方法	■授業におけるプレゼンテーション 6回（60%）：適用ルーブリック C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点） レジュメの内容（必要事項がすべて盛り込まれているか、分かりやすいレジュメとなっているか）、プレゼンテーションの論理構成（指示された内容について明解な論理構成に基づく報告となっているか）、プレゼンテーションの手法（時間が守られているか、聞き手に分かりやすい話し方か）などについて評価します。 （フィードバックの方法） 報告内容について解説するとともに、評価の観点に基づいて報告後に講評を行います。 ■授業参加度 15回（40%）：適用ルーブリック C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1 （評価の観点） 他者の報告に対する自らの疑問・考察などを積極的に発言しているか、他者から示された意見や疑問に対し、自ら考えフィードバックを行っているかなど、演習授業の構築への参加について評価します。 （フィードバックの方法） 毎回の授業のまとめの際に、各自の議論への参加について公表します。	
履修条件	条件ではありませんが、「社会心理学」「ヒューマンエラー論」「犯罪心理学」といった心理学系専門科目の単位あるいは同等の知識・技能を修得済か、3年次に履修されることを推奨します。	
履修上の注意点	少人数で行うため、できる限り出席し、発言することが重要です。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1、L1、M1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。 ④復習（150分） 授業の狙いや内容などについて確認する。
	2	①授業テーマ 資料の収集・検索 ②授業概要 危機管理に資する心理科学研究の実施とその卒業論文執筆に際して必要な資料（書籍、論文、その他）の検索・収集方法などを身に付ける（E1、I1、K1、M1）。 ③予習（120分） 関心のあるテーマについて、どのような資料が有用か検討する。 ④復習（120分） 資料の検索方法について、講義での配布資料をもとに十分に復習する。

3	①授業テーマ プレゼンテーションの方法、卒業論文執筆の手法 ②授業概要 プレゼンテーションの方法（レジメの作成等を含む）、心理学に関わる卒業論文執筆の手法などを身に付ける（E1、I1、K1、K2）。 ③予習（120分） 自主創造の基礎1・2や危機管理基礎演習Ⅰ・Ⅱで学修したプレゼンテーションの方法を今一度確認する。 ④復習（120分） プレゼンテーションの方法、論文執筆の手法について講義概要をもとに十分に復習する。
4	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（1） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
5	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（2） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
6	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（3） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
7	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（4） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
8	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（5） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分）

	自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
9	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（6） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
10	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（7） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
11	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（8） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
12	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（9） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
13	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（10） ②授業概要 卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
14	①授業テーマ 研究テーマの選定、研究方法の検討（11） ②授業概要

	卒業論文のテーマの選定へ向け、各自が自身の関心のあるテーマおよびその研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 報告および授業でのディスカッション、教員による指導等を踏まえ、自らの研究テーマに関し再度検討を行う。
	15 ①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの14回の授業を総括し、科目全体に関するまとめのディスカッションを行う（E1、I1、K1、K、M1）。 ③予習（120分） 自身の報告、授業全体のディスカッションを振り返る。 ④復習（120分） 科目全体を振り返り、次学期ゼミナールにおける研究に向けた計画を立てる。
関連科目	演習系科目としては、「自主創造の基礎1・2（RMGT1215・1RMGT216）」・「危機管理基礎演習Ⅰ・Ⅱ（RMGT2601・RMGT2602）」・「ゼミナールⅠ、Ⅲ～Ⅳ（RMGT4601・RMGT4603・RMGT4604）」と関連します。
教科書	なし
参考書・参考URL	各回の授業において適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30%：パブリックセキュリティ40%：グローバルセキュリティ10%：情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 法学10%：危機管理学90%

